

2022年11月10日

株式会社日立システムズ

株式会社日立システムズエンジニアリングサービス

株式会社日立システムズフィールドサービス

**日立システムズと国内グループ2社が
LGBTQに関する取り組みを評価する「PRIDE 指標 2022」を受賞**
性的マイノリティを含めたすべての従業員が働きやすい職場づくりを継続して実施



「PRIDE 指標 2022」ゴールド、シルバーのロゴ

株式会社日立システムズ(代表取締役 取締役社長：柴原 節男、本社：東京都品川区／以下、日立システムズ)と国内グループ2社は、LGBTQ^{*1}など性的マイノリティに関する取り組みの評価指標「PRIDE 指標 2022」で、評価基準である5つの指標を満たしていると評価され、以下のとおり受賞したことをお知らせします。

^{*1} LGBTQ：レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クィア／クエスチョニングなどの性的マイノリティの総称

■受賞結果

【ゴールド】

- ・日立システムズ
- ・株式会社日立システムズエンジニアリングサービス（代表取締役 取締役社長：桑原 俊夫、本社：神奈川県横浜市）

【シルバー】

- ・株式会社日立システムズフィールドサービス（代表取締役 取締役社長：萩原 亮、本社：東京都江東区）

■日立システムズグループの取り組み

日立システムズグループでは、経営の仕組みである「日立システムズ Way」に掲げる企業理念および経営ビジョンに基づいて「人権方針」を定めるとともに、「行動規範」の中で「性的指向」に対する差別の禁止を明文化しています。

それに従い、会社制度の「家族」の定義に「同性パートナー」を追加し、配偶者に関する制度の適用を可能にするなど社内制度の整備、「社内人権問題相談窓口」の設置など従業員が気軽に相談や問い合わせができる環境づくり、日立システムズを含む日立グループ4社が制作した「職場における LGBT ハンドブック」の活用や ALLY^{*2} 賛同者への ALLY ステッカー配布による ALLY の見える化など LGBTQ の理解を促進する活動といった、さまざまな取り組みを行っています。

*2 ALLY(アライ)：「味方」の意味。日立システムズでは、LGBTQ をはじめ、ダイバーシティに関する社会的課題について、自分ごととして捉え、その解決に向けて動く人を表す

■受賞における各社の評価ポイント

【日立システムズ】 ※2019 年からエントリーし、4 年連続でのゴールドを受賞

- ・社外の専門カウンセラーに相談できる窓口、会社制度に関する問い合わせに自動応答するチャットボットなど、従業員が気軽に相談や問い合わせができる環境を維持。
- ・従業員の PC のポップアップ機能やオフィス内のデジタルサイネージを活用したメッセージの発信など、LGBTQ を正しく理解する取り組みを継続的に実施。
- ・LGBTQ への理解を通じて職場のダイバーシティを考える役員向け人権研修を行い、その模様を従業員に配信するとともに全社職場ミーティングを開催して、一人ひとりの人権についてあらためて考える取り組みを継続。2022 年には「職場における LGBT ハンドブック」を日立グループ全体に展開。

【株式会社日立システムズエンジニアリングサービス】 ※2021 年からエントリーしシルバーを受賞、2022 年に初のゴールドを受賞

- ・2022 年 6 月の「PRIDE 月間」に合わせて社内イントラに啓発ページを作成。従業員へ社外イベント「東京レインボーPRIDE」を周知して参加者を募集。
- ・会社案内に「PRIDE 指標 2021」受賞の実績を掲載し、お客さまへ社内の取り組みを紹介。
- ・インターンシップや会社説明会の参加者へ取り組みを紹介、また採用時のエントリーシートから性別欄を削除することで性別にとらわれない採用方針を明示。

【株式会社日立システムズフィールドサービス】 ※2022 年からエントリーし、初のシルバーを受賞

- ・2020 年、配偶者に関する制度適用が可能となるように、会社制度の「家族」の定義に「同性パートナー」を追加。
- ・2020 年に「社内人権問題相談窓口」を設置、2021 年にダイバーシティ推進へのさらなる取り組みとして専門組織を新設し、従業員が気軽に相談や問い合わせができる環境を整備。

■今後の取り組み

今後も日立システムズグループは、企業活力向上施策「SMILE Work ∞ Life Action」の下、「働き方改革」「健康経営」「ダイバーシティ」の推進とコミュニケーションのさらなる促進により多様な働き方を支援し、従業員一人ひとりがいきいきと最大限の能力を発揮することができる環境づくりに取り組みます。そして、いきいきと働く多彩な人財と先進の情報技術を組み合わせた独自のサービスによって、お客さまのデジタルトランスフォーメーションに貢献する新たな

価値を創造してまいります。

■「PRIDE 指標」の概要について

「PRIDE 指標」は、企業・団体等の枠組みを超えて、LGBTQ が働きやすい職場づくりの実現をめざし、2016 年に任意団体「work with Pride」が策定した日本初の職場における LGBTQ に関する取り組みの評価指標で、LGBTQ の人々が誇りを持って働ける職場の実現をめざして、「Policy：行動宣言」、「Representation：当事者コミュニティ」、「Inspiration：啓発活動」、「Development：人事制度、プログラム」、「Engagement/Empowerment：社会貢献・渉外活動」の 5 つの評価指標から構成されています。

詳細は <https://workwithpride.jp/pride-ij/> をご覧ください。

■人権の尊重について

日立システムズでは、企業理念および経営ビジョンに基づいて「人権方針」を定めるとともに、人権に関する国際規範を尊重し、差別の撤廃、情報管理に伴う人権を尊重すること、労働における基本的権利を尊重することを「行動規範」に明記しています。

詳細は https://www.hitachi-systems.com/sustainability/social_report/human_rights/index.html をご覧ください。

■企業活力向上施策「SMILE Work ∞ Life Action」について

日立システムズでは、「働き方改革」「健康経営」「ダイバーシティ」の推進とコミュニケーションのさらなる促進により、柔軟な働き方を拡大し、企業活力向上や生産性向上を実現することによって、多様な人財が多様な価値観を持っていきいきと活躍し、大きな成果を挙げることができる環境づくりに取り組んでいます。

詳細は <https://www.hitachi-systems.com/workstyle/activity/smile/index.html> をご覧ください。

■日立システムズについて

株式会社日立システムズは、幅広い規模・業種システムの構築と、データセンター、ネットワークやセキュリティの運用・監視センター、コンタクトセンター、全国約 300 か所のサービス拠点などの多彩なサービスインフラを生かしたシステム運用・監視・保守が強みの IT サービス企業です。多彩な「人財」と先進の情報技術を組み合わせた独自のサービスによってお客さまのデジタルライゼーションに貢献し、新たな価値創造に共に取り組み、お客さまからすべてを任せていただけるグローバルサービスカンパニーをめざします。

詳細は <https://www.hitachi-systems.com/> をご覧ください。

以上

*記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。